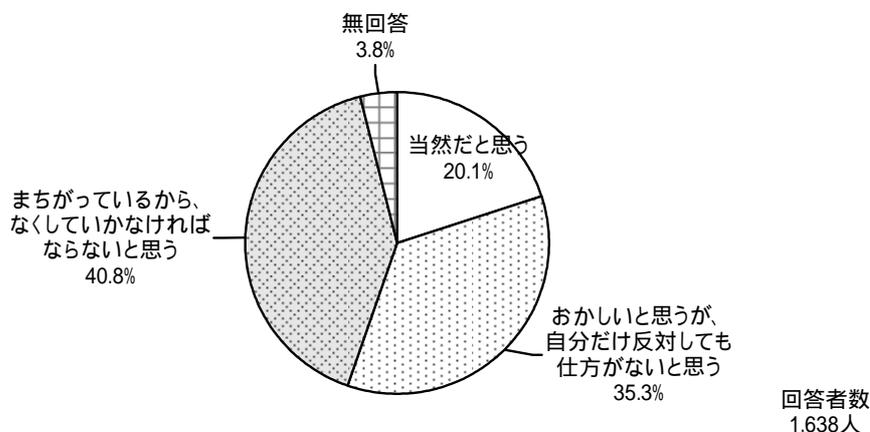


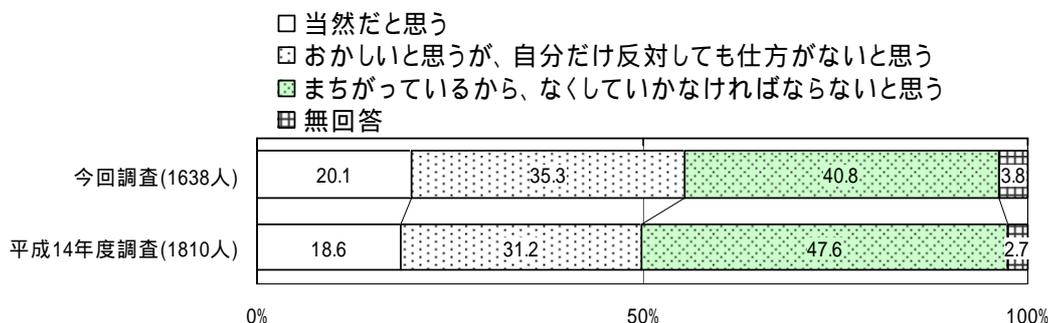
12. 家柄・血筋

問27 結婚相手を決めるとき、家柄とか血筋を問題にする風習について、あなたはどのように思いますか。(は1つ)



結婚で家柄とか血筋を問題にする風習について、「当然だと思う」と答えた人の割合が20.1%、「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」が35.3%と合わせて5割強となっている。一方、「まちがっているから、なくしていかなければならないと思う」と答えた人の割合は40.8%となっている。

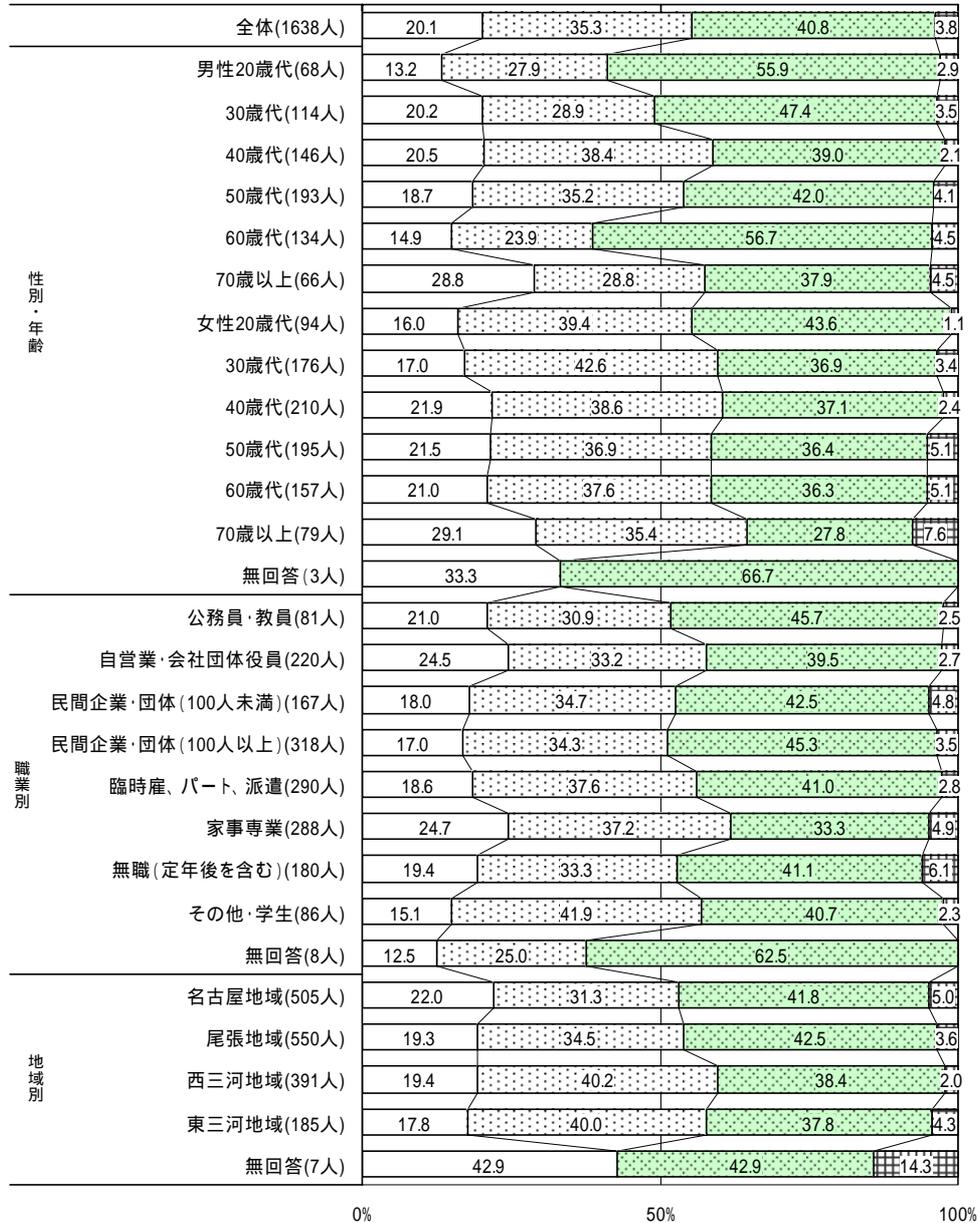
経年比較



平成14年度調査と比較すると「まちがっているから、なくしていかなければならないと思う」が6.8ポイント減少し、「当然だと思う」が1.5ポイント、「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」が4.1ポイント増加している。

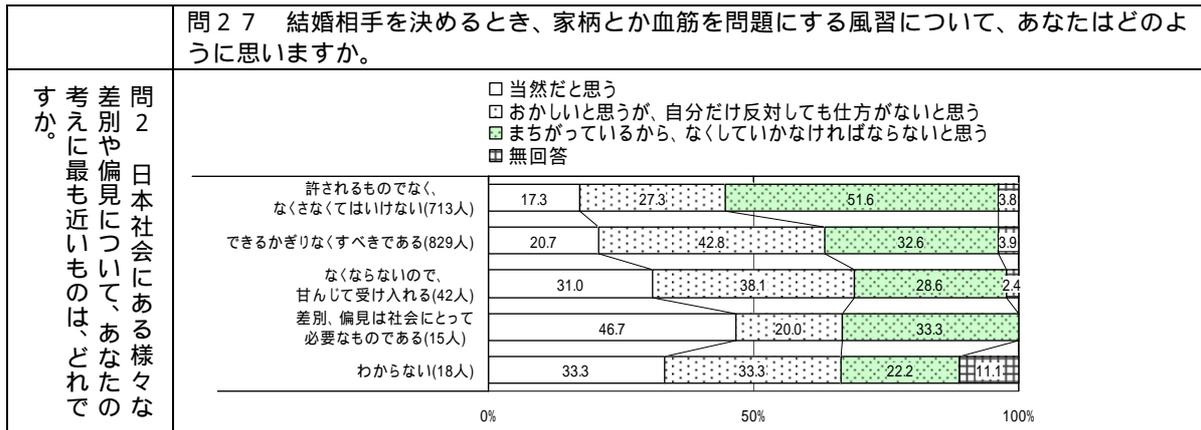
基本属性別

- 当然だと思う
- ▨ おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方ないと思う
- まちがっているから、なくしていかなければならないと思う
- 無回答



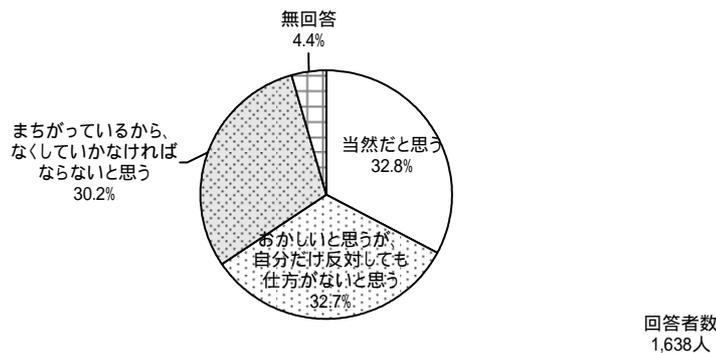
性別・年齢で見ると、「まちがっているから、なくしていかなければならないと思う」と答えた人の割合は男性の20歳代と60歳代で高く50%を超えている。一方、男女とも70歳以上では「当然だと思う」と答えた人の割合が3割弱と高くなっている。

問2と問27の関連



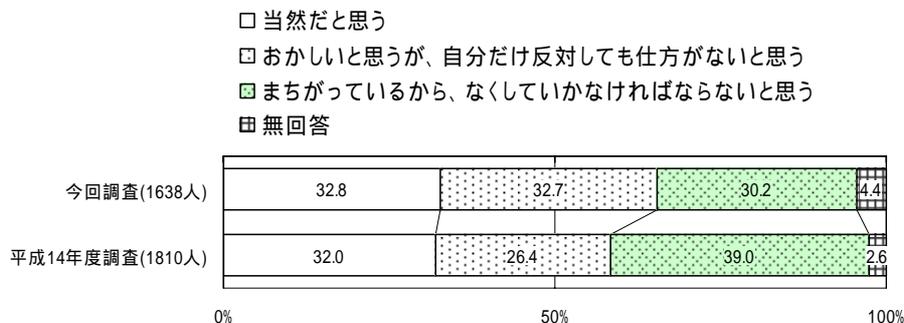
差別や偏見に対する考え方別に見ると、差別、偏見は許されるものでなく、なくさなくてはならないとする人では、「まちがっているから、なくしていかなければならないと思う」と答えた人の割合が51.6%と半数を超えている。しかし一方で、「当然だと思う」と答えた人の割合が17.3%となっている。

問28 結婚にあたり、家柄や家族状況を調べること(聞き合わせ)について、あなたはどのように思いますか。(は1つ)



結婚で家柄や家族状況を調べること(聞き合わせ)について、「当然だと思う」と答えた人の割合が32.8%、「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」が32.7%と合わせて6割強となっている。一方、「まちがっているから、なくしていかなければならないと思う」と答えた人の割合が30.2%となっている。

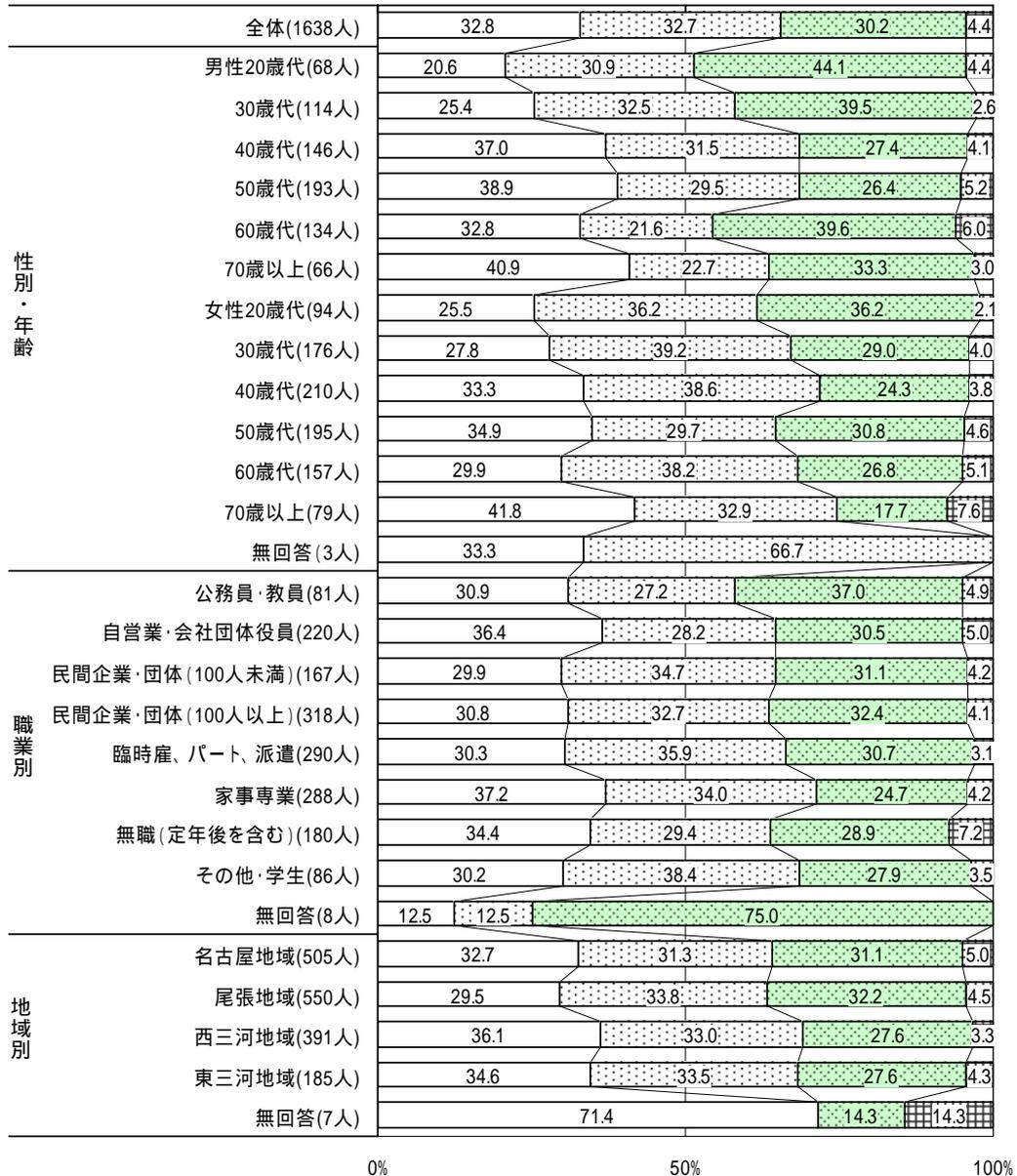
経年比較



平成14年度調査と比較すると、「まちがっているから、なくしていかなければならないと思う」が8.8ポイント減少し、「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」が6.3ポイント増加している。

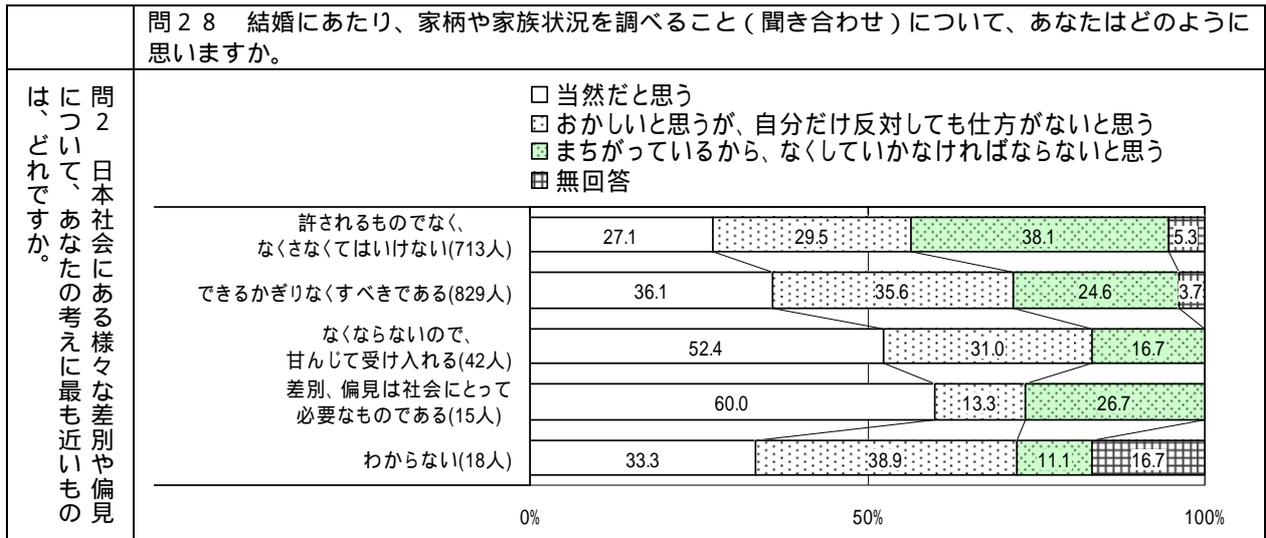
基本属性別

- 当然だと思う
- ▨ おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う
- まちがっているから、なくしていかなければならないと思う
- 田 無回答



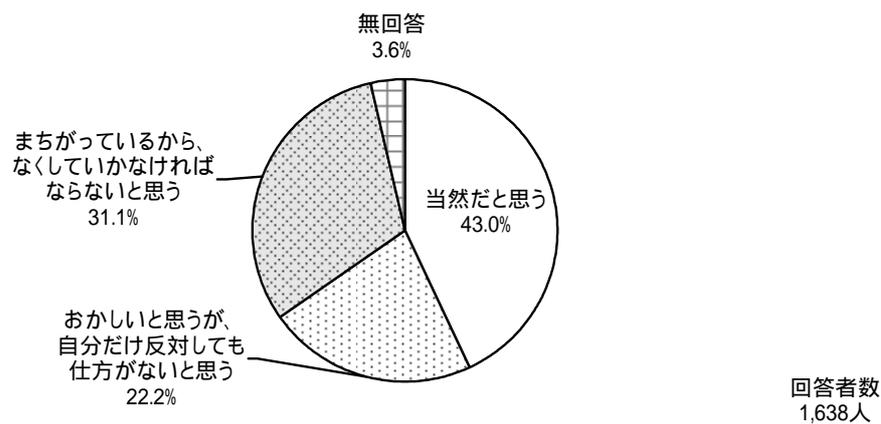
性別・年齢で見ると、男性の20歳代で「まちがっているから、なくしていかなければならないと思う」と答えた人の割合が44.1%と高くなっている。一方、男女とも70歳以上では「当然だと思う」が40%以上となっている。

問2と問28の関連



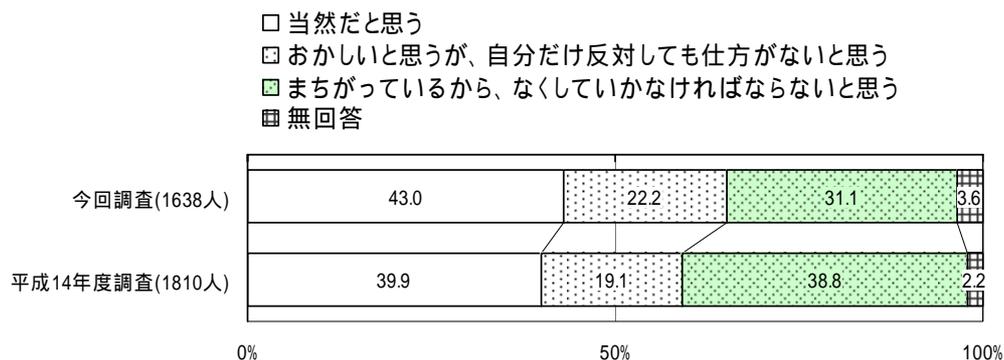
差別や偏見に対する考え方別に見ると、差別、偏見は許されるものでなく、なくさなくてはならないとする人では、「まちがっているから、なくしていかなければならないと思う」と答えた人の割合が38.1%と高くなっている。しかし「当然だと思う」と答えた人の割合も少なくなく27.1%となっている。

問29 企業が採用選考のとき身元調査をすることについて、あなたはどのように思いますか。(は1つ)



企業が採用選考のとき身元調査をすることについて、「当然だと思う」と答えた人の割合が 43.0%、「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」が 22.2%と合わせて6割強となっている。一方、「まちがっているから、なくしていかなければならないと思う」が 31.1%となっている。

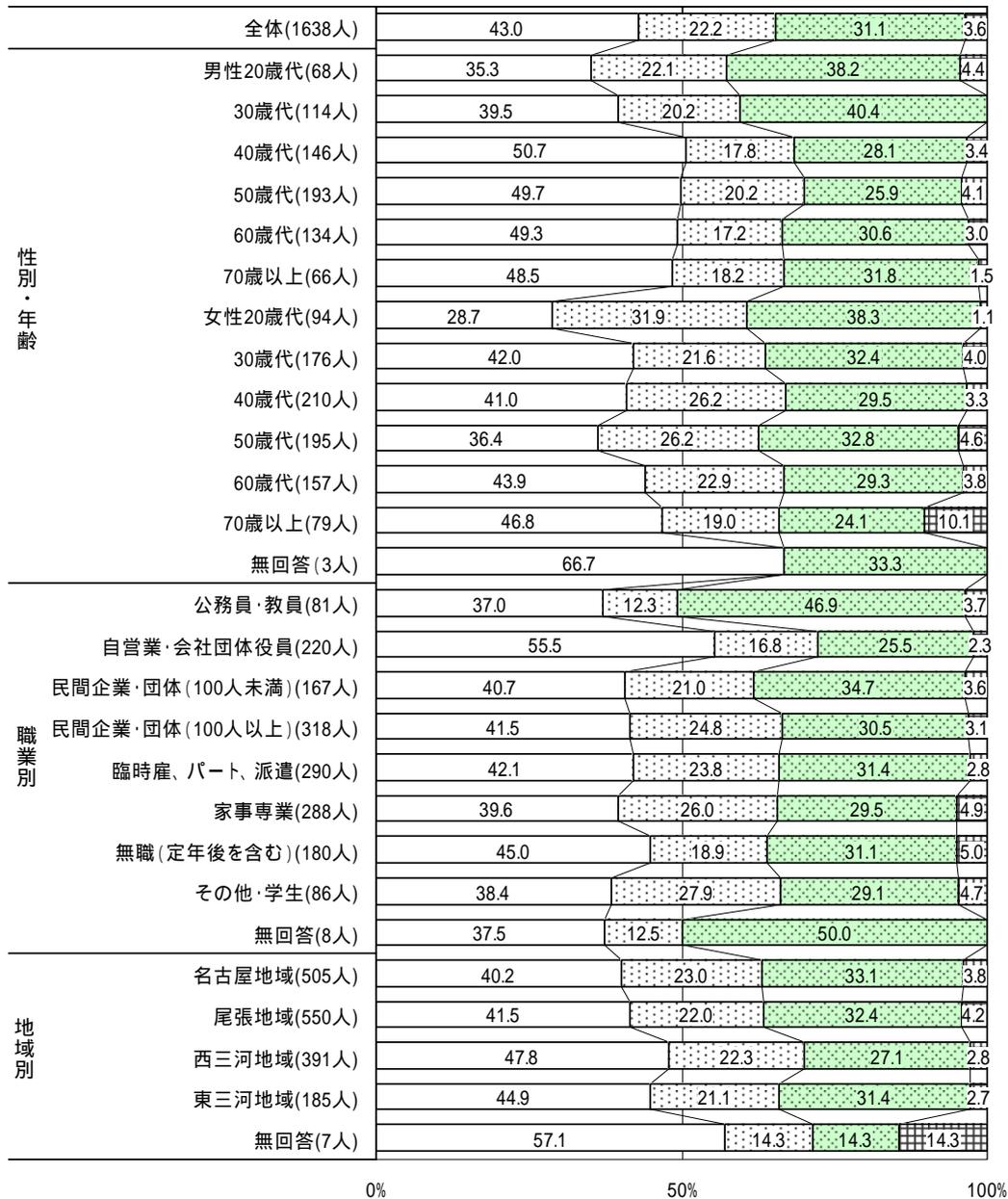
経年比較



平成14年度調査と比較すると、「まちがっているから、なくしていかなければならないと思う」が 7.7ポイント減少し、「当然だと思う」、「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」がそれぞれ 3.1ポイント増加している。

基本属性別

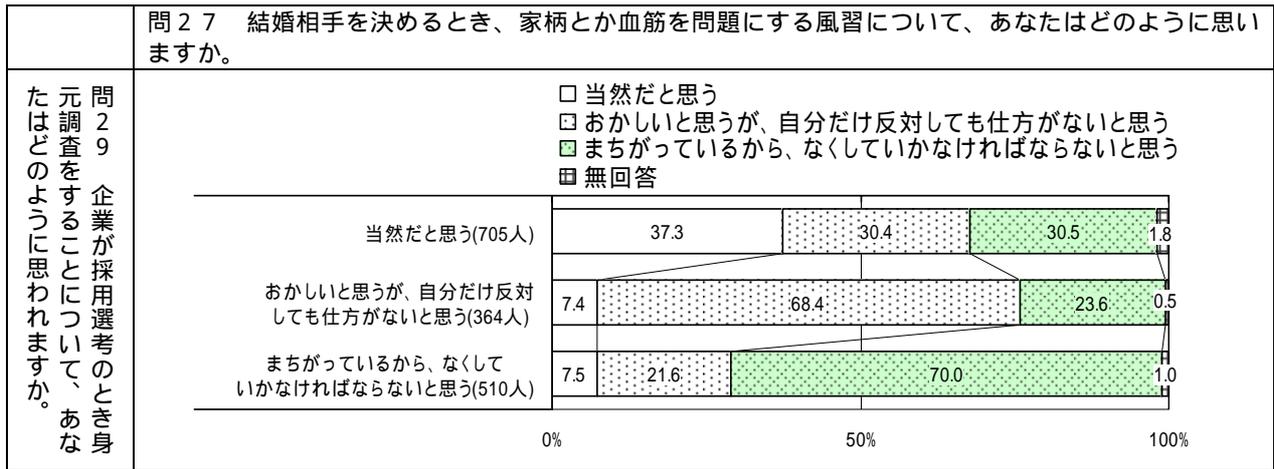
- 当然だと思う
- ▨ おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う
- まちがっているから、なくしていかなければならないと思う
- 田 無回答



性別・年齢で見ると、男性の40歳代以上では「当然だと思う」と答えた人の割合が「まちがっているから、なくしていかなければならないと思う」を上まわり、50%前後となっている。

職業別では、「自営業・会社団体役員」で「当然だと思う」と答えた人の割合が55.5%と高く、地域別では三河地域で「当然だと思う」と答えた人の割合が名古屋、尾張地域よりやや高くなっている。

問29と問27の関連

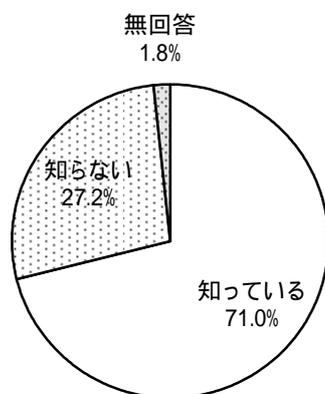


企業の身元調査に対する考え方別に、結婚相手を決めるときの家柄とか血筋を問題にする風習を見ると、「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」人では、結婚相手を決めるときの風習でも「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」が68.4%、「まちがっているから、なくしていかなければならないと思う」人では、結婚相手を決めるときの風習でも「まちがっているから、なくしていかなければならないと思う」が70.0%となっている。

「当然だと思う」人での、結婚相手を決めるときの風習では、「当然だと思う」が37.3%、「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」が30.4%、「まちがっているから、なくしていかなければならないと思う」が30.5%となっている。

13. 同和問題の認識

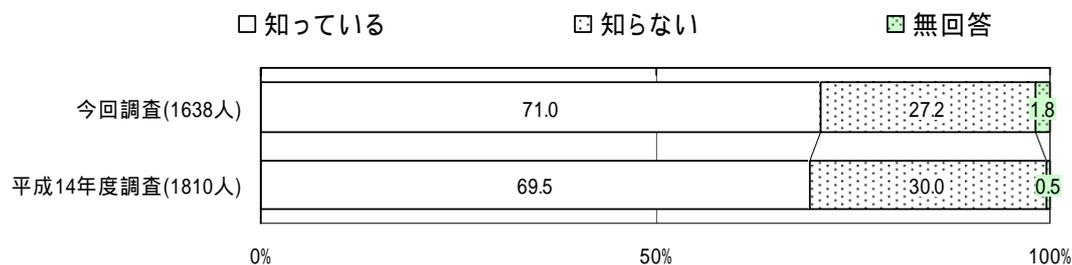
問30 あなたは、日本の社会に「同和地区」、「被差別部落」などよばれ、差別を受けてきた地区があること、あるいは「同和問題」「部落差別」「部落問題」といわれる問題があることを知っていますか。(は1つ)



回答者数
1,638人

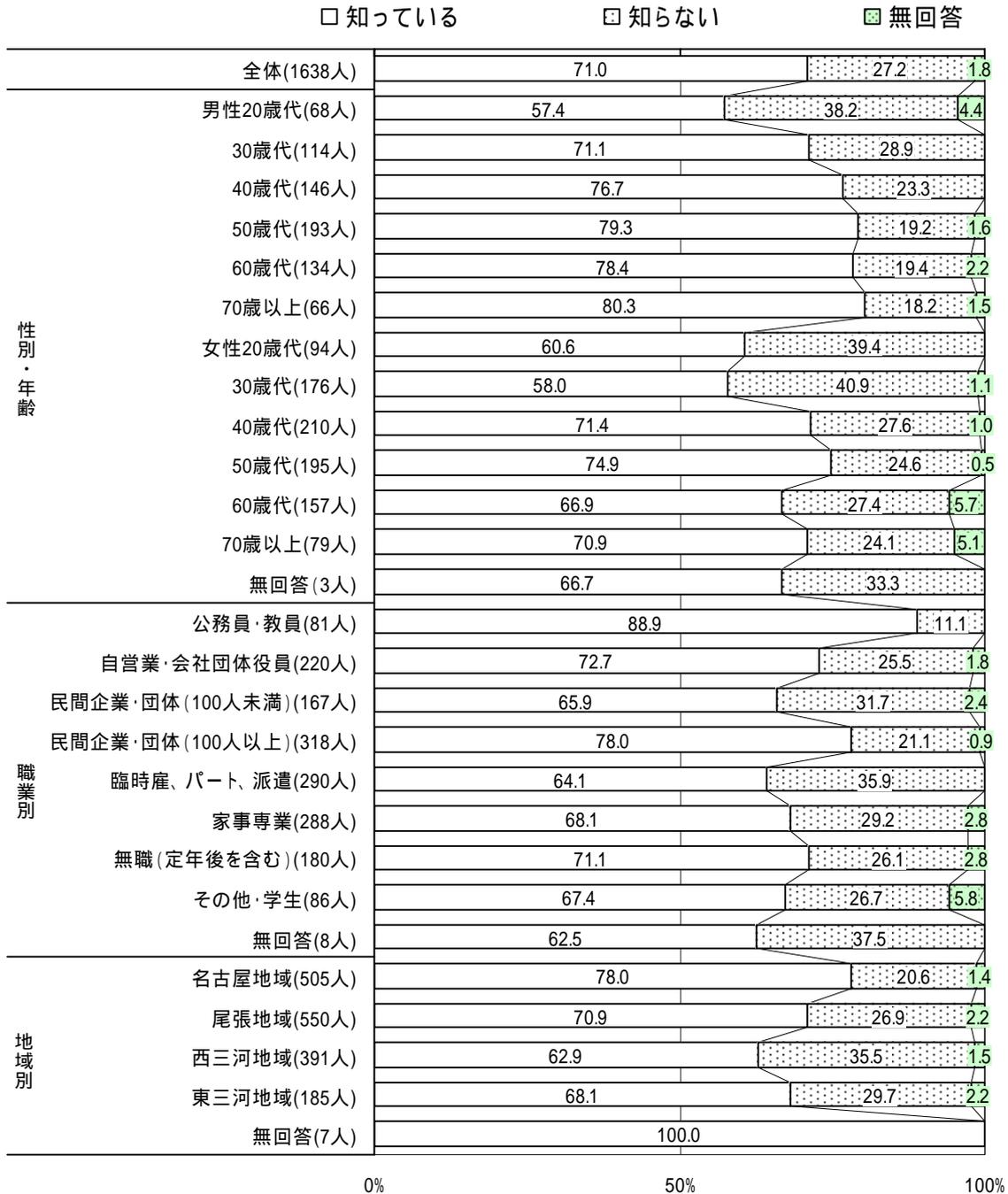
同和問題について、「知ってる」と答えた人の割合が71.0%で、「知らない」と答えた人の割合が27.2%となっている。

経年比較



平成14年度調査と比較すると、大きな違いは見られない。

基本属性別

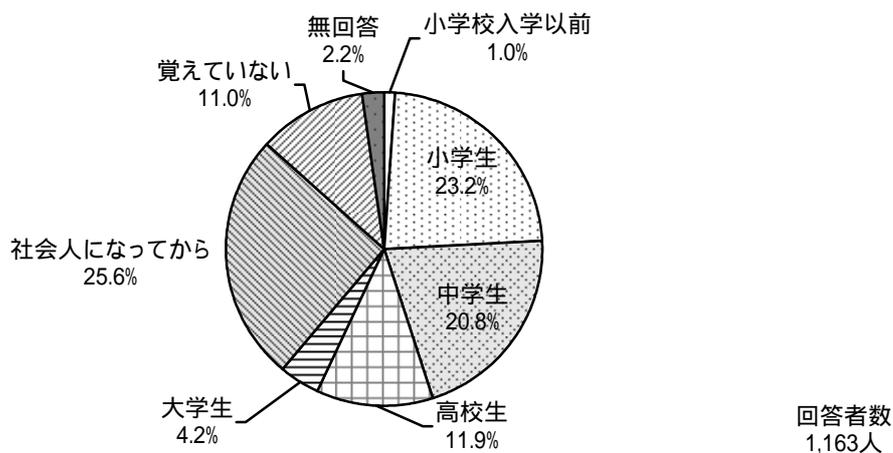


性別・年齢で見ると、男性では20歳代、女性では20歳代、30歳代で「知らない」と答えた人の割合が40%前後と高くなっている。

職業別では、「民間企業・団体(100人未満)」、「臨時雇、パート、派遣」で「知らない」と答えた人の割合が30%以上と高くなっている。

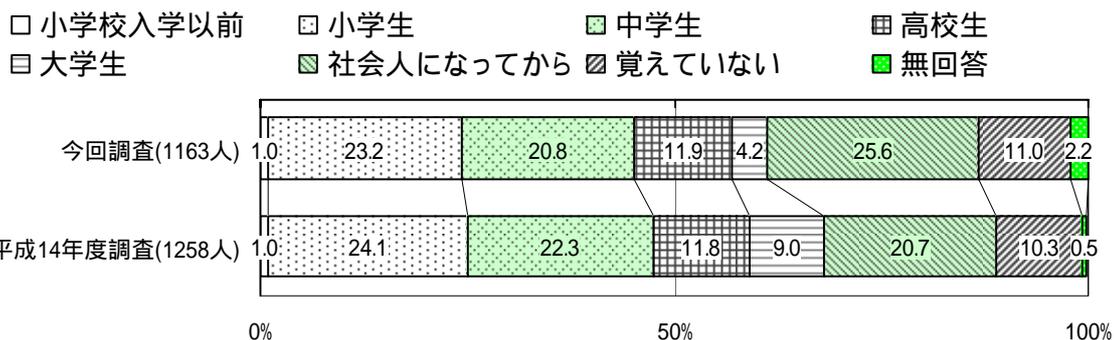
地域別では、西三河地域で「知らない」と答えた人の割合が35.5%と他の地域に比べ高くなっている。

<問31から問36までは、問30で同和地区や同和問題を「1.知っている」と答えた方にお聞きします。>
 問31 あなたが、同和地区や同和問題について、はじめて知ったのは、いつ頃ですか。
 (は1つ)



同和地区や同和問題についてはじめて知ったのは、「社会人になってから」と答えた人の割合が25.6%、次いで、「小学生」が23.2%、「中学生」が20.8%となっている。

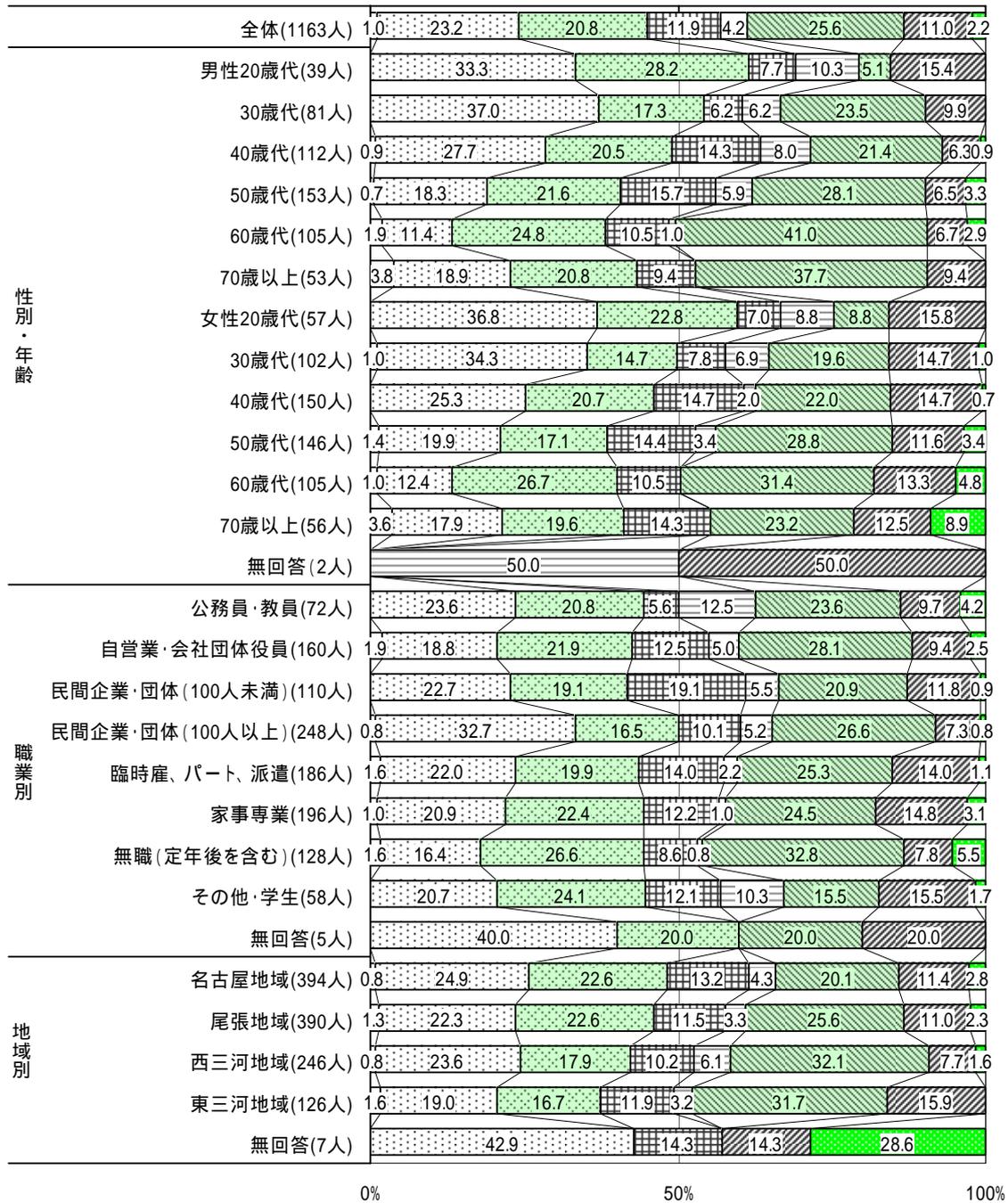
経年比較



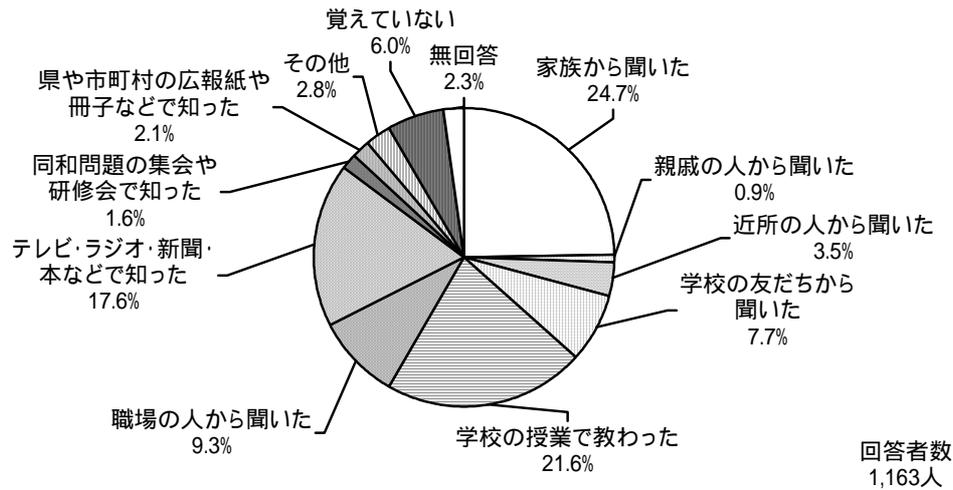
平成14年度調査と比較すると、「大学生」が4.8ポイント減少し、「社会人になってから」が4.9ポイント増加している。

基本属性別

- 小学校入学以前 □ 小学生 □ 中学生 □ 高校生
- ▨ 大学生 ▨ 社会人になってから ▨ 覚えていない ■ 無回答



問3 2 あなたが、同和地区や同和問題について、はじめて知ったきっかけは、何からですか。(は1つ)



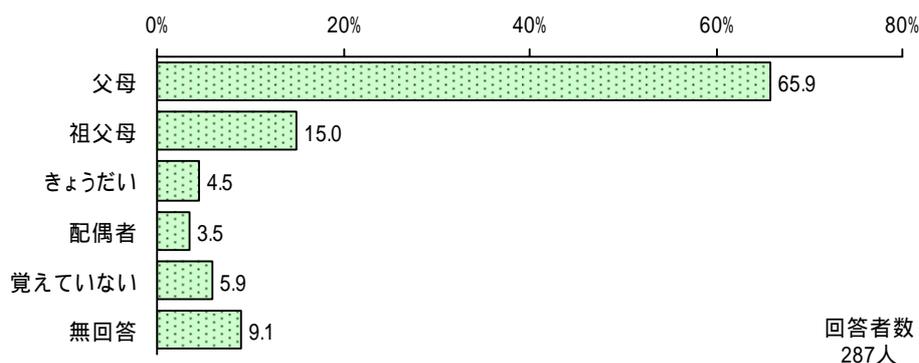
同和地区や同和問題についてはじめて知ったきっかけは、「家族から聞いた」と答えた人の割合が 24.7%、次いで、「学校の授業で教わった」が 21.6%、「テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った」が 17.6%となっている。

基本属性別

	家族から聞いた	学校の授業で教わった	テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った	職場の人から聞いた	学校の友だちから聞いた	近所の人から聞いた	報知紙や市町村の広報紙などで知った	同和問題の集会や研修会で知った	親戚の人から聞いた	その他	覚えていない	無回答
全体(1163人)	24.7	21.6	17.6	9.3	7.7	3.5	2.1	1.6	0.9	2.8	6.0	2.3
年齢・性別												
男性 20歳代(39人)	17.9	53.8	17.9	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	5.1	0.0
30歳代(81人)	21.0	40.7	13.6	7.4	9.9	1.2	2.5	1.2	0.0	1.2	1.2	0.0
40歳代(112人)	20.5	27.7	15.2	6.3	12.5	2.7	0.9	2.7	1.8	4.5	4.5	0.9
50歳代(153人)	26.1	11.1	23.5	11.8	7.2	2.6	2.6	2.0	1.3	3.3	5.2	3.3
60歳代(105人)	22.9	5.7	18.1	19.0	7.6	8.6	2.9	3.8	0.0	2.9	5.7	2.9
70歳以上(53人)	26.4	0.0	30.2	17.0	3.8	9.4	1.9	1.9	0.0	0.0	7.5	1.9
女性 20歳代(57人)	17.5	56.1	8.8	3.5	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5	5.3	0.0
30歳代(102人)	15.7	45.1	11.8	4.9	8.8	0.0	1.0	2.0	0.0	2.0	7.8	1.0
40歳代(150人)	27.3	24.0	11.3	10.7	8.0	2.0	3.3	0.0	1.3	3.3	8.0	0.7
50歳代(146人)	28.8	13.0	18.5	8.2	6.8	2.7	2.7	0.7	2.1	4.8	8.2	3.4
60歳代(105人)	30.5	7.6	21.0	11.4	7.6	7.6	1.9	1.9	0.0	1.0	4.8	4.8
70歳以上(56人)	33.9	3.6	26.8	0.0	7.1	5.4	1.8	3.6	1.8	0.0	7.1	8.9
無回答(2人)	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
職業別												
公務員・教員(72人)	16.7	30.6	8.3	8.3	1.4	1.4	5.6	9.7	0.0	6.9	6.9	4.2
自営業・会社団体役員(160人)	30.6	11.9	26.3	8.8	8.8	3.1	0.0	2.5	0.6	1.9	3.8	1.9
民間企業・団体(100人未満)(110人)	20.9	20.0	18.2	9.1	11.8	4.5	3.6	0.0	0.9	2.7	6.4	1.8
民間企業・団体(100人以上)(248人)	24.2	31.5	12.1	12.1	6.9	2.0	2.4	0.4	0.4	2.4	4.8	0.8
臨時雇、パート、派遣(186人)	24.7	22.0	15.6	8.1	10.2	3.2	1.1	0.5	1.6	3.8	8.1	1.1
家事専業(196人)	27.6	23.0	18.9	4.1	6.6	4.6	1.5	1.5	1.0	1.5	6.1	3.6
無職(定年後を含む)(128人)	25.0	4.7	24.2	16.4	6.3	4.7	3.1	1.6	0.8	1.6	6.3	5.5
その他・学生(58人)	17.2	29.3	15.5	5.2	6.9	5.2	1.7	1.7	1.7	5.2	8.6	1.7
無回答(5人)	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地域別												
名古屋地域(394人)	27.7	24.1	17.0	6.1	7.6	2.8	1.5	2.0	0.3	2.8	5.3	2.8
尾張地域(390人)	25.9	20.5	16.4	9.5	7.9	3.6	1.8	0.5	1.0	3.1	7.2	2.6
西三河地域(246人)	17.9	21.5	19.5	11.8	6.9	4.5	3.3	2.8	2.0	2.8	5.3	1.6
東三河地域(126人)	25.4	16.7	19.8	14.3	7.9	4.0	2.4	1.6	0.0	1.6	5.6	0.8
無回答(7人)	14.3	28.6	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3

性別・年齢で見ると、若い年齢層で「学校の授業で教わった」と答えた人の割合が高く、20歳代では男女とも50%以上となっている。

問3 2 - 1 家族の誰から聞きましたか (家族から聞いた人 いくつでも)

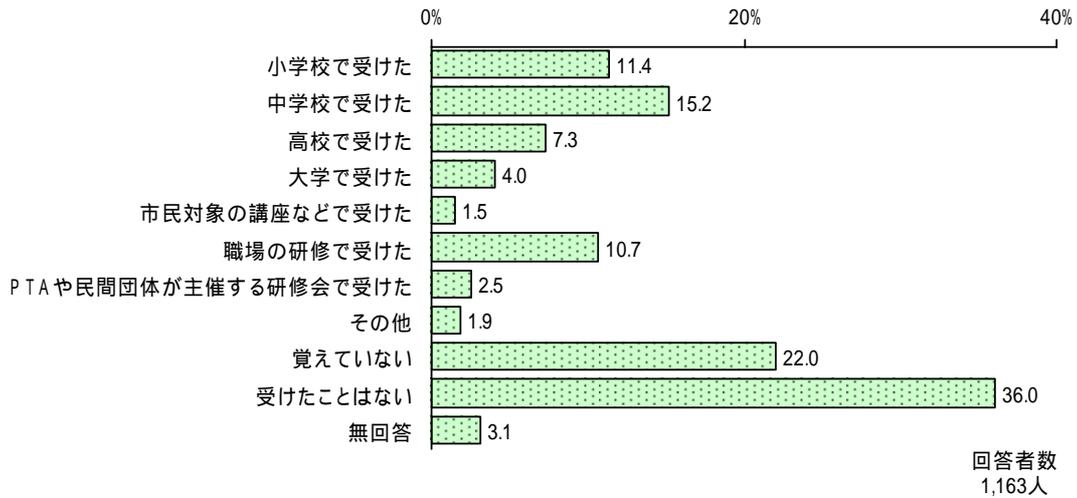


家族から教わった場合について、「父母」と答えた人の割合が 65.9%と最も高く、次いで、「祖父母」が 15%となっている。

基本属性別

		父母	祖父母	きょうだい	配偶者	覚えていない	無回答
全体(287人)		65.9	15.0	4.5	3.5	5.9	9.1
年齢・性別	男性 20歳代(7人)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代(17人)	64.7	11.8	17.6	0.0	0.0	11.8
	40歳代(23人)	91.3	4.3	0.0	0.0	0.0	4.3
	50歳代(40人)	60.0	12.5	7.5	0.0	5.0	15.0
	60歳代(24人)	66.7	16.7	0.0	0.0	8.3	12.5
	70歳以上(14人)	57.1	28.6	7.1	0.0	7.1	7.1
	女性 20歳代(10人)	80.0	10.0	10.0	0.0	0.0	10.0
	30歳代(16人)	56.3	12.5	0.0	12.5	12.5	6.3
	40歳代(41人)	61.0	19.5	4.9	0.0	7.3	14.6
	50歳代(42人)	71.4	14.3	2.4	7.1	4.8	7.1
	60歳代(32人)	59.4	12.5	6.3	12.5	9.4	3.1
70歳以上(19人)	47.4	31.6	0.0	5.3	10.5	5.3	
無回答(1人)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
職業別	公務員・教員(12人)	75.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7
	自営業・会社団体役員(49人)	71.4	16.3	6.1	0.0	4.1	8.2
	民間企業・団体(100人未満)(23人)	73.9	4.3	0.0	0.0	17.4	4.3
	民間企業・団体(100人以上)(60人)	70.0	10.0	3.3	3.3	3.3	11.7
	臨時雇、パート、派遣(46人)	63.0	17.4	8.7	6.5	10.9	2.2
	家事専業(54人)	57.4	18.5	1.9	7.4	3.7	13.0
	無職(定年後を含む)(32人)	59.4	25.0	0.0	3.1	6.3	9.4
	その他・学生(10人)	60.0	0.0	30.0	0.0	0.0	10.0
無回答(1人)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
地域別	名古屋地域(109人)	76.1	13.8	3.7	3.7	6.4	2.8
	尾張地域(101人)	62.4	15.8	3.0	2.0	5.0	14.9
	西三河地域(44人)	52.3	15.9	9.1	9.1	6.8	9.1
	東三河地域(32人)	62.5	15.6	6.3	0.0	6.3	9.4
	無回答(1人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

問33 あなたは、学校、職場及び地域で同和問題についての教育を受けたり学習をしたことがありますか。(はいくつでも)



同和問題を知っている人で、学校、職場及び地域での同和問題についての教育や学習について、「受けたことはない」と答えた人の割合が36.0%となっている。受けた人では、「中学校で受けた」が15.2%、「小学校で受けた」が11.4%、「職場の研修で受けた」が10.7%となっている。

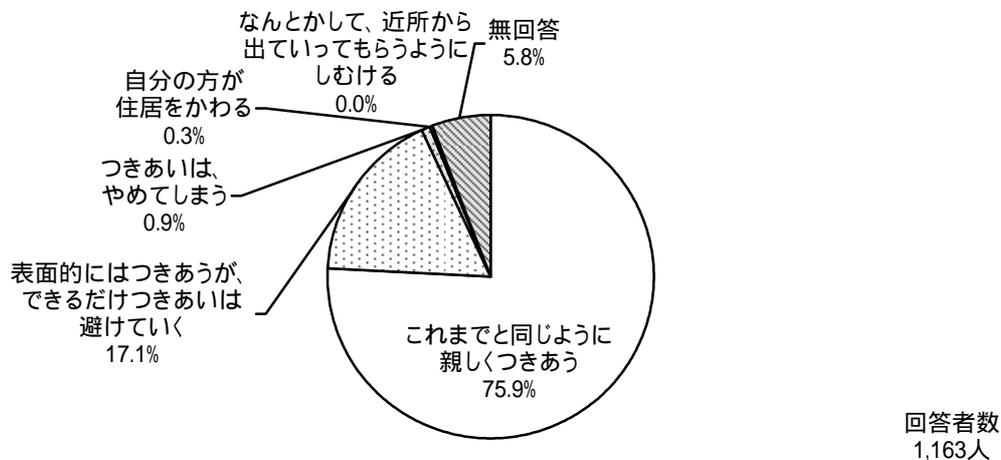
基本属性別

	小学校で受けた	中学校で受けた	高校で受けた	大学で受けた	市民対象の講座などで受けた	職場の研修で受けた	PTAや民間団体が主催する研修会で受けた	その他	覚えていない	受けたことはない	無回答	
全体(1163人)	11.4	15.2	7.3	4.0	1.5	10.7	2.5	1.9	22.0	36.0	3.1	
年齢・性別	男性 20歳代(39人)	30.8	35.9	12.8	7.7	2.6	7.7	0.0	5.1	12.8	20.5	0.0
	30歳代(81人)	27.2	21.0	6.2	1.2	1.2	17.3	2.5	3.7	23.5	27.2	0.0
	40歳代(112人)	14.3	21.4	8.0	6.3	0.0	10.7	0.9	1.8	31.3	22.3	0.9
	50歳代(153人)	5.2	8.5	7.8	3.9	0.7	17.0	1.3	0.7	15.0	49.0	3.9
	60歳代(105人)	0.0	3.8	2.9	4.8	1.0	25.7	3.8	2.9	19.0	40.0	2.9
	70歳以上(53人)	0.0	3.8	1.9	0.0	5.7	5.7	3.8	0.0	26.4	54.7	1.9
	女性 20歳代(57人)	31.6	35.1	15.8	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	17.5	19.3	1.8
	30歳代(102人)	25.5	27.5	6.9	8.8	0.0	8.8	0.0	1.0	27.5	19.6	1.0
	40歳代(150人)	14.0	16.7	10.7	2.7	0.7	10.0	3.3	0.7	26.0	29.3	0.7
	50歳代(146人)	4.1	11.0	6.8	2.7	1.4	6.2	4.1	4.8	24.0	39.0	5.5
60歳代(105人)	1.9	8.6	5.7	0.0	3.8	4.8	3.8	1.0	17.1	53.3	5.7	
70歳以上(56人)	3.6	8.9	3.6	1.8	7.1	1.8	5.4	0.0	14.3	51.8	14.3	
無回答(2人)	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	
職業別	公務員・教員(72人)	11.1	11.1	9.7	19.4	0.0	31.9	0.0	4.2	11.1	20.8	4.2
	自営業・会社団体役員(160人)	5.6	10.6	2.5	2.5	0.6	5.6	1.9	1.3	27.5	43.6	2.5
	民間企業・団体(100人未満)(110人)	11.8	11.8	10.0	3.6	0.0	5.5	2.7	0.0	22.7	43.6	1.8
	民間企業・団体(100人以上)(248人)	19.8	19.4	10.5	4.0	0.8	18.5	0.8	2.4	20.6	29.4	1.6
	臨時雇、パート、派遣(186人)	11.8	21.0	9.7	1.1	1.1	4.3	3.2	0.5	24.7	33.9	2.7
	家事専業(196人)	9.7	14.3	5.6	1.5	3.1	5.1	5.1	2.6	22.4	37.8	4.6
	無職(定年後を含む)(128人)	1.6	7.8	3.9	2.3	4.7	14.8	3.1	0.8	18.8	44.5	6.3
	その他・学生(58人)	17.2	22.4	5.2	10.3	1.7	5.2	1.7	5.2	24.1	29.3	1.7
	無回答(5人)	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0
地域別	名古屋地域(394人)	11.9	16.5	8.9	4.3	1.8	10.7	3.0	1.3	22.6	34.8	3.8
	尾張地域(390人)	9.5	14.9	7.4	4.4	1.8	9.5	3.6	1.5	23.8	35.5	3.6
	西三河地域(246人)	14.6	14.6	6.9	3.3	1.2	11.4	1.2	2.8	18.7	39.8	1.6
	東三河地域(126人)	8.7	13.5	2.4	3.2	0.8	12.7	0.0	2.4	22.2	41.3	1.6
	無回答(7人)	28.6	14.3	14.3	14.3	0.0	28.6	0.0	14.3	0.0	28.6	14.3

性別・年齢で見ると、男女とも高い年齢層で「受けたことがない」と答えた人の割合が40%以上と高くなっている。

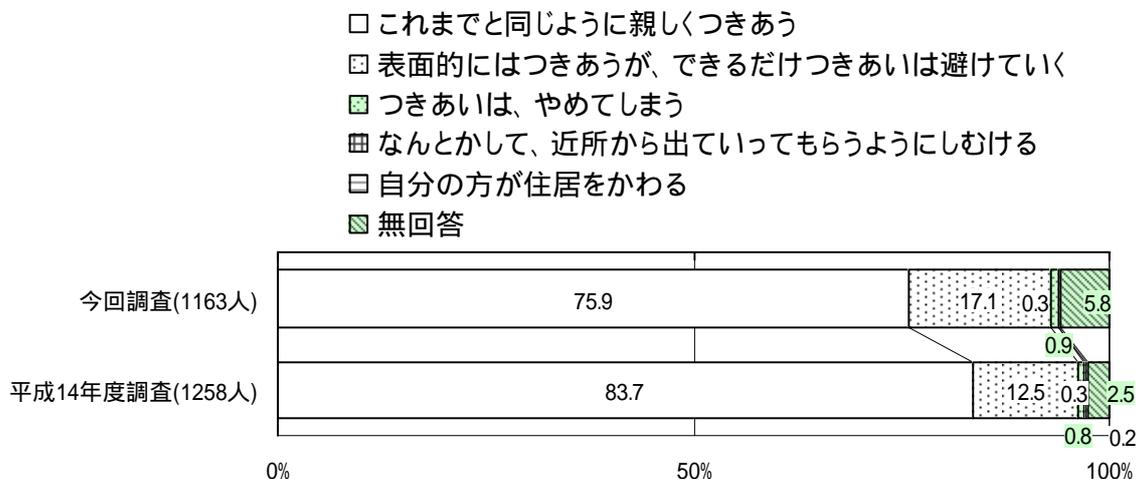
14. 同和地区出身者に対する意識

問34 仮に、日ごろ親しくつきあっている隣近所の人が、なにかのことで、同和地区の人であることがわかった場合、あなたはどのようにしますか。(1つ)



隣近所の人と同和地区の人であった場合について、「これまでと同じように親しくつきあう」と答えた人が75.9%となっている。一方、「表面的にはつきあうが、できるだけつきあいは避けていく」と答えた人が17.1%、「つきあいはやめてしまう」が0.9%と合わせて2割弱となっている。

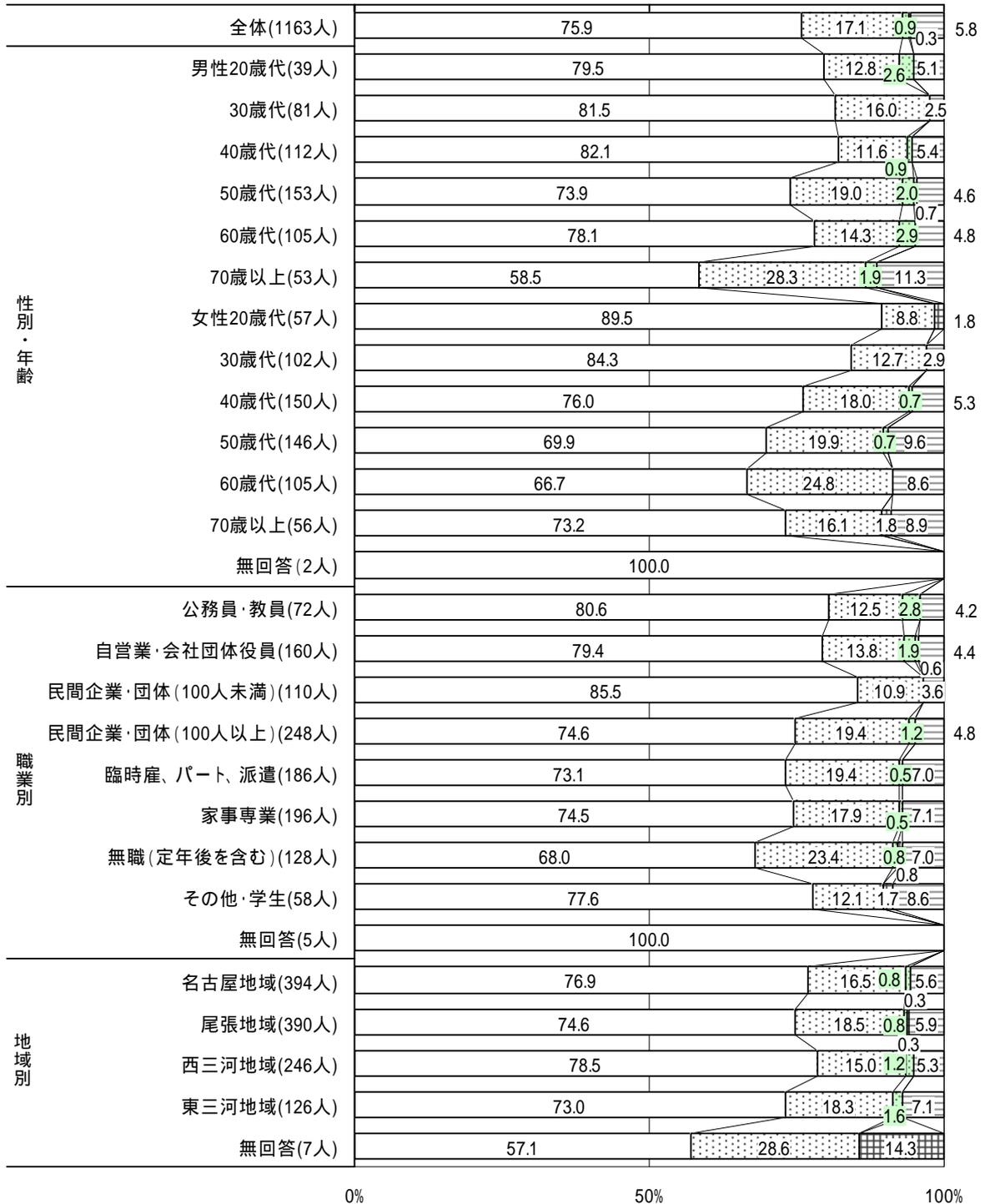
経年比較



平成14年度調査と比較すると、「これまでと同じように親しくつきあう」が7.8ポイント減少し、「表面的にはつきあうが、できるだけつきあいは避けていく」が4.6ポイント増加している。

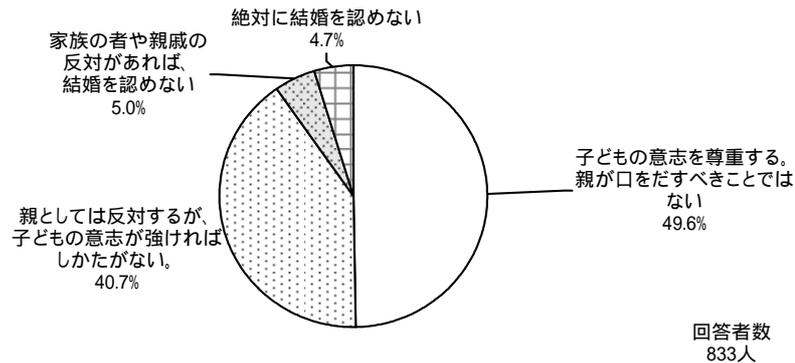
基本属性別

- これまでと同じように親しくつきあう
- ▨ 表面的にはつきあうが、できるだけつきあいは避けていく
- つきあいは、やめてしまう
- ▩ 自分の方が住居をかわる
- 無回答



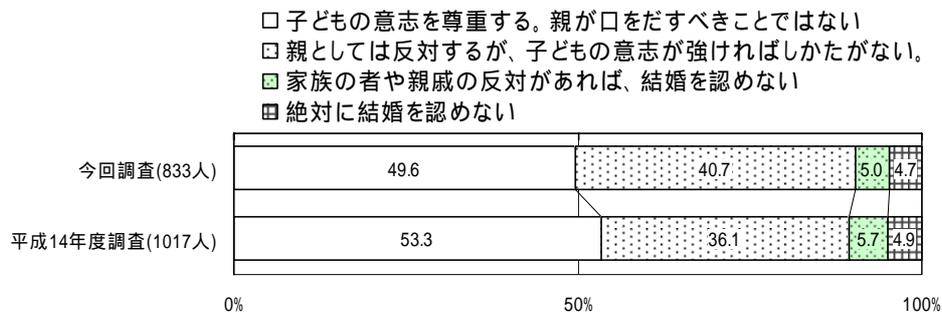
性別・年齢で見ると、「表面的にはつきあうが、できるだけつきあいは避けていく」と答えた人の割合が男性では70歳以上で、女性では60歳代でそれぞれ28.3%、24.8%と高くなっている。

問35 お子さんのいる方にお聞きします。あなたのお子さんの結婚しようとしている相手が同和地区の人であるとわかった場合、あなたはどうしますか。(は1つ)



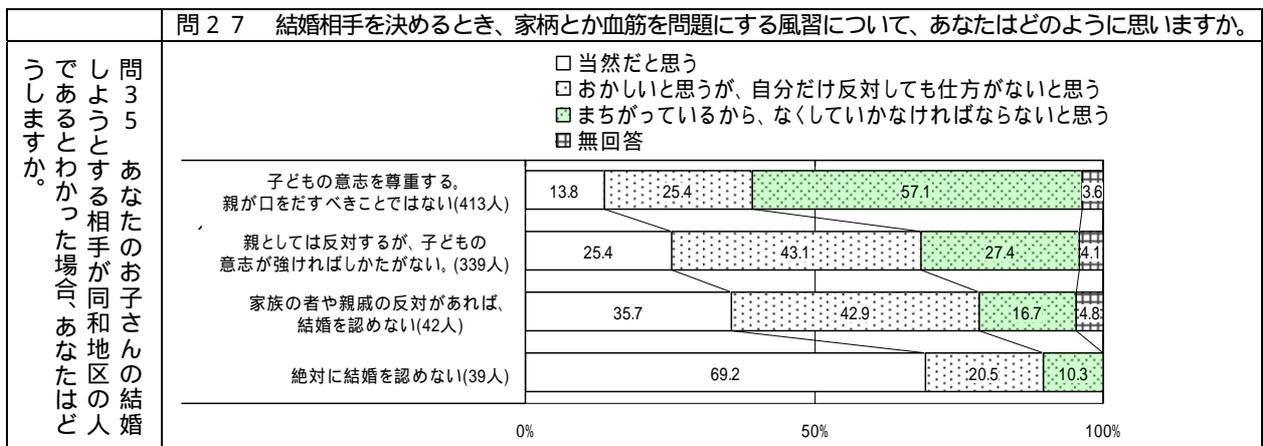
子どもの結婚しようとする相手が同和地区の人であるとわかった場合について、「子どもの意志を尊重する。親が口をだすべきことではない」と答えた人の割合が49.6%と半数となっている。一方、「親としては反対するが、子どもの意志が強ければしかたがない」と答えた人の割合が40.7%、「家族の者や親戚の反対があれば、結婚を認めない」が5.0%、「絶対に結婚を認めない」が4.7%と合わせて5割となっている。

経年比較



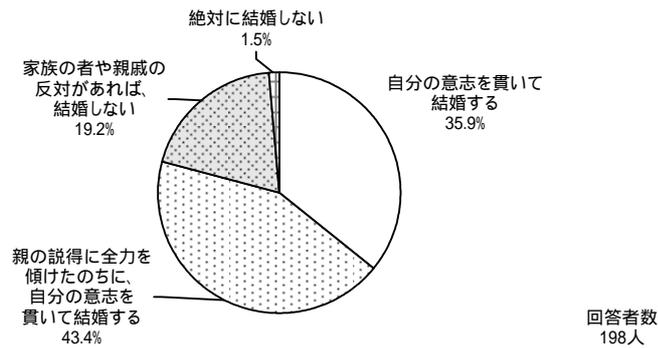
平成14年度調査と比較すると、「子どもの意志を尊重する。親が口をだすべきことではない」とする人が3.7ポイント減少し、「親としては反対するが、子どもの意志が強ければしかたがない。」が4.6ポイント増加している。

問35と問27の関連



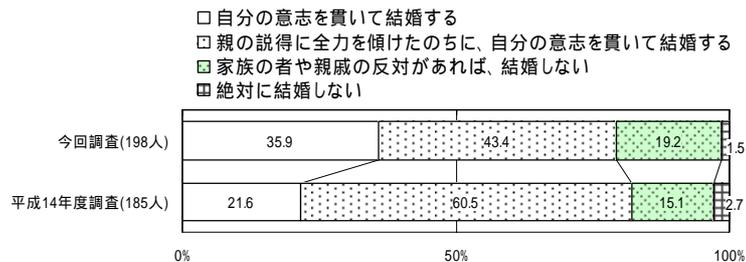
同和地区の人との結婚についての考え方別に、結婚相手の家柄血筋を問題にする風習を見ると、子どもの意志を尊重する。親が口をだすべきことではないとする人では、「まちがっているから、なくしていかなければならないと思う」と答えた人の割合が高くなっている。

問36 未婚の方にお聞きします。あなたが同和地区の人と恋愛し、結婚しようとするとき、親や親戚から強い反対を受けたら、あなたはどうしますか。(は1つ)



同和地区の人と恋愛し結婚しようとするとき、親や親戚から強い反対を受けた場合について、「自分の意志を貫いて結婚する」と答えた人の割合が35.9%、「親の説得に全力を傾けたのちに、自分の意志を貫いて結婚する」が43.4%となっている。一方、「家族の者や親戚の反対があれば、結婚しない」と答えた人の割合が19.2%、「絶対結婚しない」が1.5%と合わせて2割となっている。

経年比較



平成14年度調査と比較すると、「親の説得に全力を傾けたのちに、自分の意志を貫いて結婚する」が17.1ポイント減少し、「自分の意志を貫いて結婚する」が14.3ポイント増加している。「家族の者や親戚の反対があれば、結婚しない」、「絶対に結婚しない」が合わせて2.9ポイント増加している。

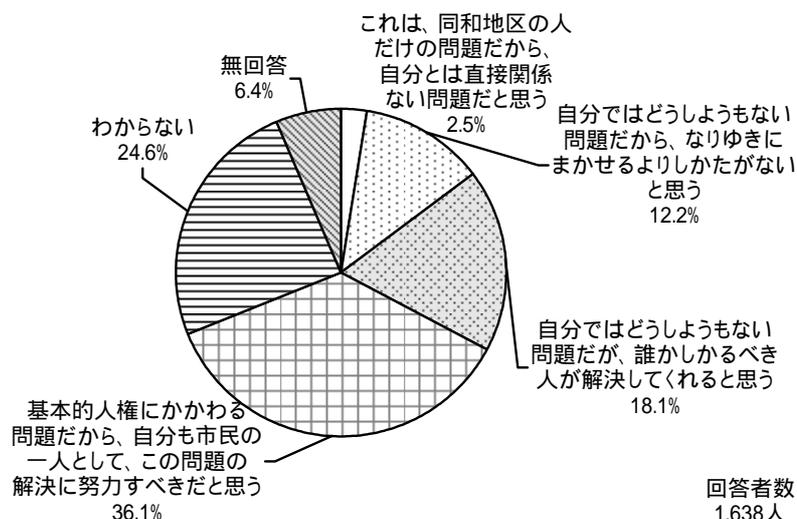
問36と問27の関連

問36の回答内容	問27 結婚相手を決めるとき、家柄とか血筋を問題にする風習について、あなたはどのように思いますか。			
	当然だと思う	おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方ないと思う	まちがっているから、なくしていかなければならないと思う	無回答
自分の意志を貫いて結婚する(71人)	9.9	26.8	62.0	1.4
親の説得に全力を傾けたのちに、自分の意志を貫いて結婚する(86人)	12.8	34.9	51.2	1.2
家族の者や親戚の反対があれば、結婚しない(38人)	36.8	34.2	26.3	2.6
絶対に結婚しない(3人)		66.7	33.3	

同和地区の人との結婚についての考え方別に、結婚相手の家柄血筋を問題にする風習を見ると、自分の意志を貫いて結婚するとする人では、「まちがっているから、なくしていかなければならないと思う」と答えた人の割合が高くなっている。

15. 同和問題解決のための対応

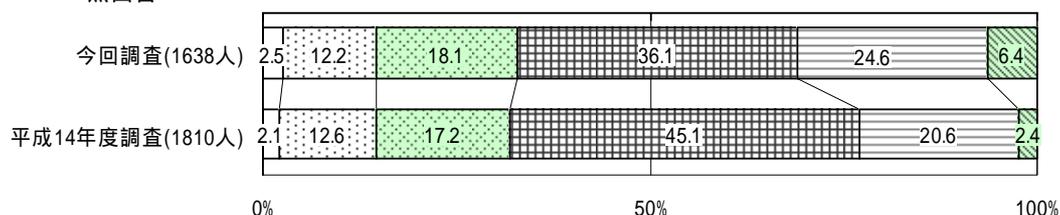
問37 同和問題の解決に対するあなたの考えに最も近いのはどれですか。(は1つ)



同和問題の解決に対する考えについては、「基本的人権にかかわる問題だから、自分も市民の一人として、この問題の解決に努力すべきだと思う」と答えた人の割合が36.1%で最も高くなっている。一方、「自分ではどうしようもない問題だから、なりゆきにまかせるよりしかたがないと思う」と答えた人の割合が12.2%、「自分ではどうしようもない問題だが、誰かしかるべき人が解決してくれると思う」が18.1%となっている。また約4分の1の24.6%が「わからない」としている。

経年比較

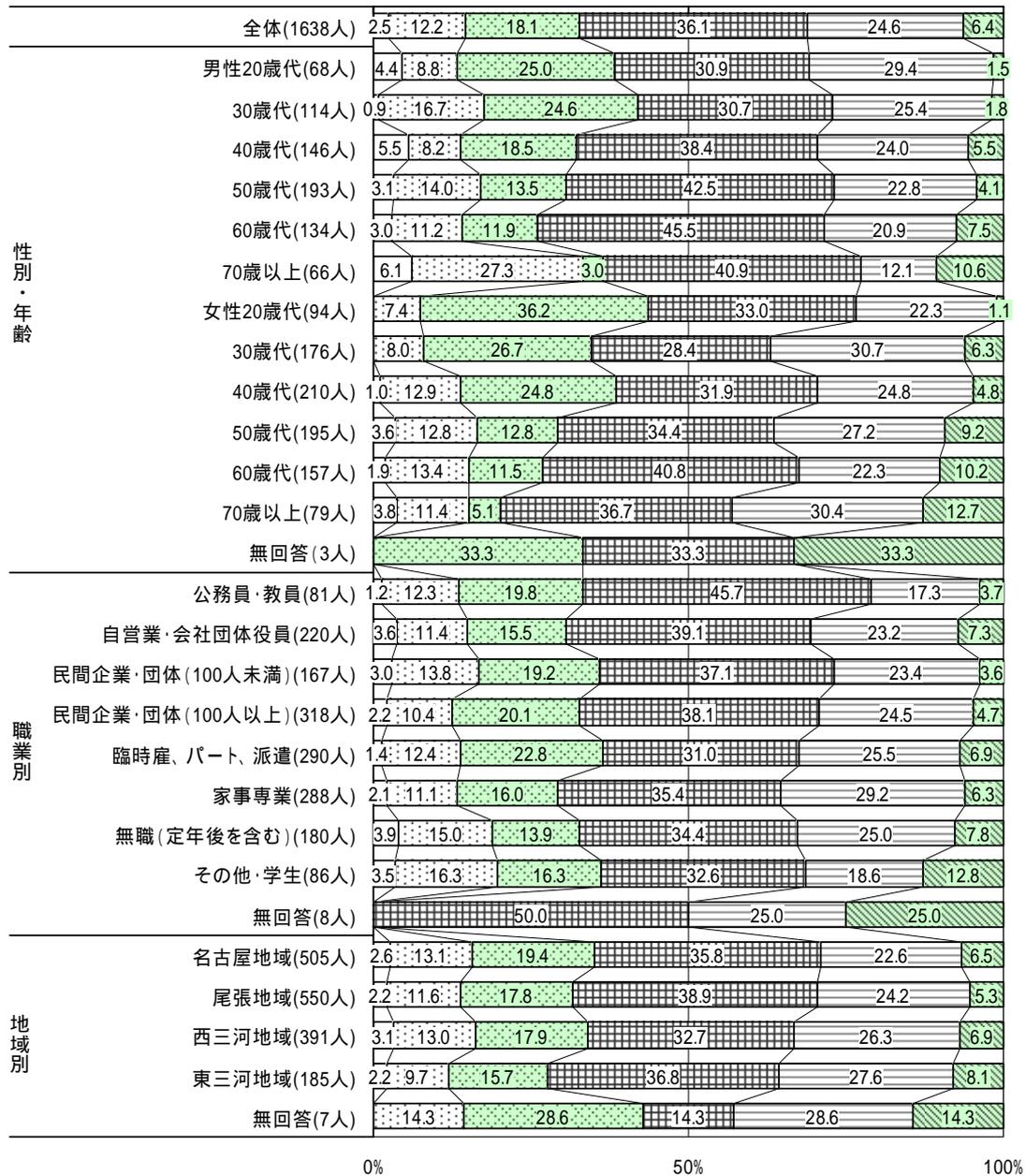
- これは、同和地区の人だけの問題だから、自分とは直接関係ない問題だと思う
- 自分ではどうしようもない問題だから、なりゆきにまかせるよりしかたがないと思う
- 自分ではどうしようもない問題だが、誰かしかるべき人が解決してくれると思う
- 基本的人権にかかわる問題だから、自分も市民の一人として、この問題の解決に努力すべきだと思う
- わからない
- 無回答



平成14年度調査と比較すると、「基本的人権にかかわる問題だから、自分も市民の一人として、この問題の解決に努力すべきだと思う」と答えた人の割合が9.0ポイント減少している。

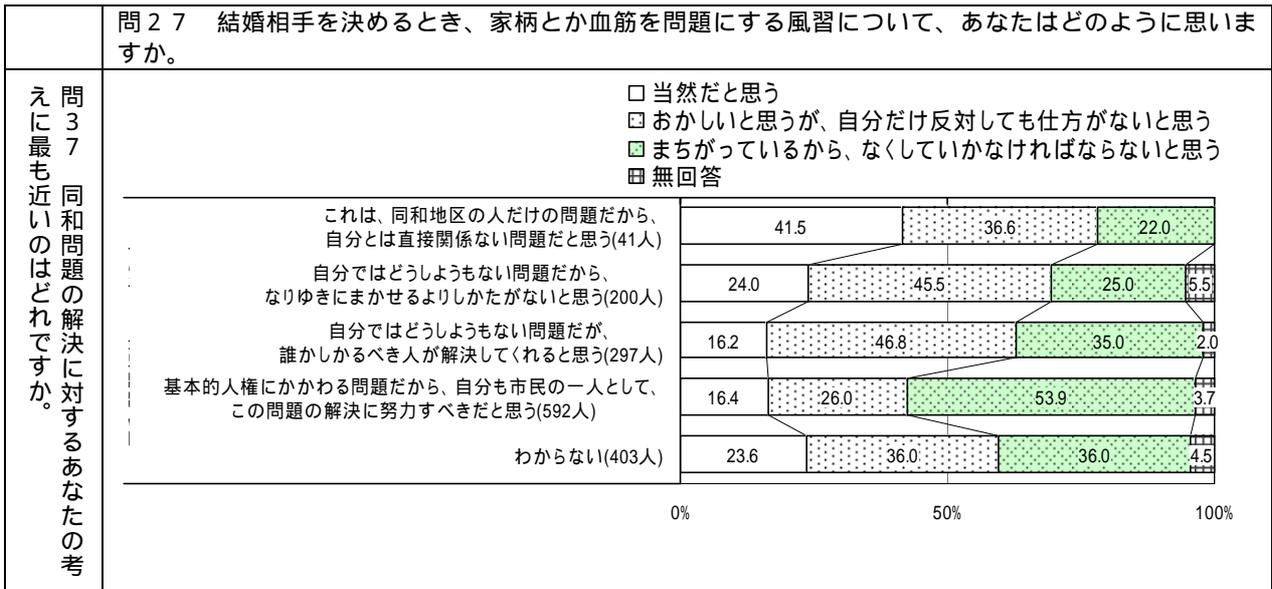
基本属性別

- これは、同和地区の人だけの問題だから、自分とは直接関係ない問題だと思う
- 自分ではどうしようもない問題だから、なりゆきにまかせるよりしかたがないと思う
- 自分ではどうしようもない問題だが、誰かしかるべき人が解決してくれると思う
- 基本的人権にかかわる問題だから、自分も市民の一人として、この問題の解決に努力すべきだと思う
- わからない
- 無回答



性別・年齢で見ると、「基本的人権にかかわる問題だから、自分も市民の一人として、この問題の解決に努力すべきだと思う」と答えた人の割合が、男性の50歳代、60歳代、70歳以上と女性の60歳代で40%以上と高くなっている。一方、男性の30歳代と女性の40歳代では、「自分ではどうしようもない問題だから、なりゆきにまかせるよりしかたがないと思う」、「自分ではどうしようもない問題だが、誰かしかるべき人が解決してくれると思う」と答えた人の割合が合わせて40%以上と高くなっている。

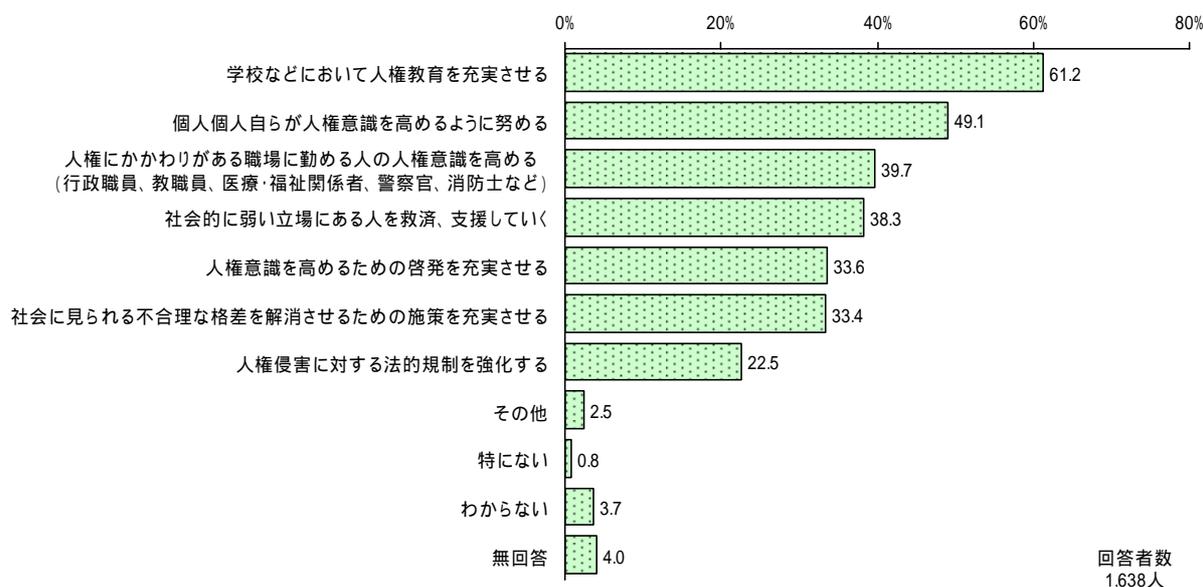
問37と問27の関連



同和問題解決に対する考え方別に、結婚相手の家柄血筋を問題にする風習を見ると、「基本的人権にかかわる問題だから、自分も市民の一人として、この問題の解決に努力すべきだと思う」とする人では、「まちがっているから、なくしていかなければならないと思う」と答えた人の割合が高くなっている。

16. 人権尊重の取り組み

問38 人権が尊重される社会を実現するには特にどのような取り組みが必要だと思いますか。(はいくつでも)



<その他の主な回答例>

マスメディアが正しい放送をする。 ボランティア活動など。 親の責任が大きい。

必要な人権尊重の取り組みについては、「学校などにおいて人権教育を充実させる」と答えた人の割合が61.2%と最も高く、次いで、「個人個人自らが人権意識を高めるように努める」が49.1%、「人権にかかわりがある職場に勤める人の人権意識を高める（行政職員、教職員、医療・福祉関係者、警察官、消防士など）」が39.7%、「社会的に弱い立場にある人を救済、支援していく」が38.3%となっている。

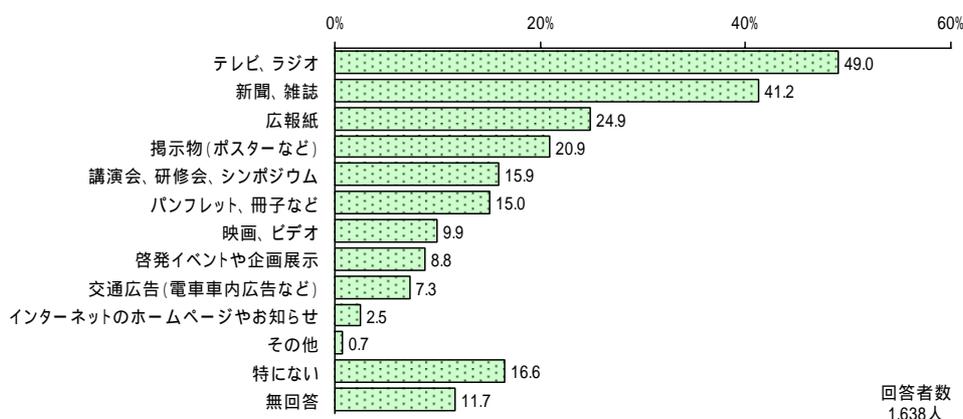
基本属性別

	学校などにおいて人権教育を充実させる	個人個人自らが人権意識を高めるように努める	意識を高める(行政職員、教職員、医療・福祉関係者、警察官、消防士など)	人権にかかわりがある職場に勤める人の人権意識を高める	社会的に弱い立場にある人を救済・支援していく	人権意識を高めるための啓発を充実させる	社会に見られる不合理な格差を解消させるための施策を充実させる	人権侵害に対する法的規制を強化する	その他	特になし	わからない	無回答
全体(1638人)	61.2	49.1	39.7	38.3	33.6	33.4	22.5	2.5	0.8	3.7	4.0	
年齢・性別	男性 20歳代(68人)	66.2	50.0	42.6	42.6	32.4	30.9	23.5	7.4	0.0	2.9	0.0
	30歳代(114人)	57.9	50.0	45.6	32.5	25.4	30.7	21.9	3.5	0.9	0.9	3.5
	40歳代(146人)	58.9	37.7	32.2	30.8	39.7	32.9	21.9	2.1	2.1	2.1	3.4
	50歳代(193人)	65.8	45.1	41.5	38.9	39.4	32.1	24.4	4.1	0.0	4.7	2.1
	60歳代(134人)	62.7	44.8	41.8	38.8	40.3	27.6	23.9	2.2	1.5	3.7	3.7
	70歳以上(66人)	53.0	48.5	30.3	39.4	40.9	31.8	22.7	0.0	3.0	4.5	12.1
	女性 20歳代(94人)	66.0	58.5	37.2	42.6	22.3	41.5	22.3	6.4	1.1	2.1	1.1
	30歳代(176人)	64.8	51.1	39.8	38.1	27.3	36.9	25.6	1.1	0.0	2.8	1.7
	40歳代(210人)	64.3	51.9	37.1	38.1	32.4	39.0	25.7	1.9	0.5	4.3	3.3
	50歳代(195人)	58.5	57.9	37.9	34.4	33.3	29.2	20.5	1.5	0.0	5.1	6.2
60歳代(157人)	56.7	46.5	43.3	43.9	29.3	33.1	17.2	0.6	1.9	3.8	5.1	
70歳以上(79人)	55.7	46.8	49.4	51.9	43.0	34.2	17.7	2.5	0.0	6.3	8.9	
無回答(3人)	66.7	66.7	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
職業別	公務員・教員(81人)	70.4	50.6	38.3	27.2	49.4	32.1	18.5	1.2	0.0	2.5	3.7
	自営業・会社団体役員(220人)	59.5	45.5	45.0	36.8	29.1	32.3	19.1	1.8	0.9	4.1	4.5
	民間企業・団体(100人未満)(167人)	64.1	52.7	40.1	43.1	31.1	32.9	26.9	3.6	1.8	3.0	2.4
	民間企業・団体(100人以上)(318人)	64.5	44.7	35.8	30.5	33.3	30.8	22.6	4.4	0.3	2.8	2.8
	臨時雇・パート・派遣(290人)	59.0	53.4	38.3	40.0	29.3	34.5	23.1	2.1	0.7	4.8	3.8
	家事専業(288人)	58.7	54.5	39.2	42.0	37.2	37.5	22.9	1.7	1.0	3.8	4.2
	無職(定年後を含む)(180人)	57.8	42.2	41.1	41.7	36.7	31.7	21.1	1.1	0.6	4.4	5.0
	その他・学生(86人)	64.0	45.3	41.9	47.7	31.4	33.7	24.4	2.3	0.0	2.3	8.1
無回答(8人)	50.0	87.5	62.5	37.5	37.5	37.5	25.0	12.5	12.5	0.0	0.0	
地域別	名古屋地域(505人)	61.8	49.3	38.8	40.8	36.0	34.9	25.1	4.4	0.8	2.4	4.8
	尾張地域(550人)	61.6	50.9	40.4	36.7	32.9	32.7	23.3	2.2	0.5	3.3	3.8
	西三河地域(391人)	62.4	47.3	42.5	37.3	33.5	33.2	20.5	0.8	1.3	4.6	2.8
	東三河地域(185人)	56.2	46.5	34.6	38.4	29.2	31.9	17.3	2.2	0.5	6.5	4.9
	無回答(7人)	57.1	71.4	28.6	42.9	28.6	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0

性別・年齢で見ると、男女ともどの年齢層でも「学校などにおいて人権教育を充実させる」と答えた人の割合が最も高くなっている。

17. 啓発活動への参加、認知

問39 女性、子ども、高齢者、障害者、同和問題、外国人、エイズ患者・HIV感染者、ハンセン病患者・元患者などの人権問題について県や市町村などが行っている啓発活動のうち、あなたが実際に参加したり、見聞きしたことがあるものはありますか。(はいいくつでも)



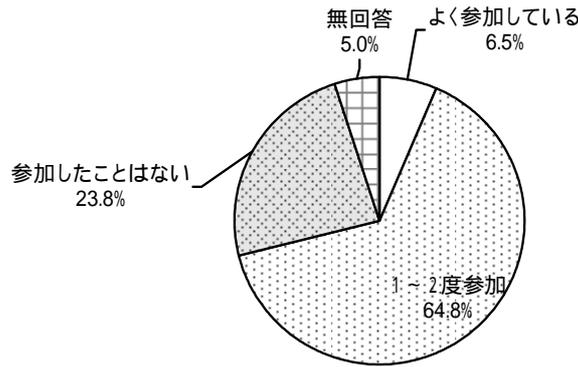
啓発活動への参加、認知については、「テレビ、ラジオ」と答えた人の割合が49.0%、「新聞、雑誌」が41.2%、「広報紙」は24.9%とマスコミについての認知度が高くなっている。次いで、「掲示物(ポスターなど)」が20.9%、「講演会、研修会、シンポジウム」が15.9%となっている。

基本属性別

	テレビ、ラジオ	新聞、雑誌	広報紙	掲示物(ポスターなど)	講演会、研修会、シンポジウム	パンフレット、冊子など	映画、ビデオ	啓発イベントや企画展示	交通広告(電車車内広告など)	インターネットのホームページ	その他	特にない	無回答
全体(1638人)	49.0	41.2	24.9	20.9	15.9	15.0	9.9	8.8	7.3	2.5	0.7	16.6	11.7
性別													
男性													
20歳代(68人)	38.2	29.4	11.8	17.6	13.2	10.3	10.3	7.4	13.2	5.9	0.0	27.9	8.8
30歳代(114人)	45.6	29.8	19.3	25.4	8.8	11.4	14.9	5.3	11.4	4.4	0.0	22.8	13.2
40歳代(146人)	46.6	30.8	23.3	21.2	12.3	13.0	8.2	10.3	6.8	5.5	1.4	17.1	9.6
50歳代(193人)	47.2	44.6	26.9	19.2	14.5	18.7	5.7	9.8	5.7	4.7	1.0	21.8	8.8
60歳代(134人)	46.3	44.8	32.8	17.9	17.2	20.1	8.2	9.7	2.2	0.7	1.5	14.2	9.7
70歳以上(66人)	39.4	34.8	28.8	12.1	9.1	10.6	4.5	7.6	6.1	0.0	0.0	19.7	16.7
女性													
20歳代(94人)	54.3	38.3	19.1	37.2	25.5	17.0	17.0	9.6	22.3	5.3	1.1	11.7	9.6
30歳代(176人)	52.8	38.1	20.5	24.4	13.1	10.2	10.2	4.5	5.7	1.1	0.6	15.3	11.4
40歳代(210人)	53.8	43.8	26.7	25.2	21.4	18.6	11.0	9.5	3.8	1.9	0.0	12.9	10.0
50歳代(195人)	52.8	50.8	31.8	20.5	19.0	16.9	12.8	13.8	7.7	1.5	1.5	10.3	12.8
60歳代(157人)	51.6	49.7	24.8	17.2	13.4	15.3	8.3	8.3	8.9	0.0	0.0	15.9	15.3
70歳以上(79人)	40.5	38.0	22.8	3.8	20.3	8.9	7.6	5.1	2.5	0.0	0.0	22.8	16.5
無回答(3人)	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
職業別													
公務員・教員(81人)	46.9	46.9	34.6	32.1	35.8	37.0	16.0	14.8	11.1	0.0	1.2	12.3	4.9
自営業・会社団体役員(220人)	48.6	39.5	22.3	15.0	10.0	15.0	6.8	6.8	4.1	3.2	0.9	18.2	13.6
民間企業・団体(100人未満)(167人)	45.5	34.7	19.2	21.6	16.8	15.0	9.6	11.4	9.0	3.6	0.0	20.4	10.2
民間企業・団体(100人以上)(318人)	48.1	35.2	22.6	23.3	12.6	11.6	10.4	6.0	8.5	4.1	0.9	16.7	11.9
臨時雇、パート、派遣(290人)	56.2	44.8	22.8	21.7	15.5	11.0	10.7	9.7	5.5	3.1	1.0	15.2	9.3
家事専業(288人)	50.7	50.3	27.8	19.8	19.4	14.6	11.8	8.0	8.0	1.0	0.0	15.6	12.5
無職(定年後を含む)(180人)	43.9	38.3	32.8	17.8	10.0	18.9	6.1	10.0	4.4	0.6	0.0	17.2	13.3
その他・学生(86人)	37.2	40.7	24.4	23.3	25.6	14.0	9.3	11.6	14.0	2.3	2.3	15.1	16.3
無回答(8人)	37.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	25.0	25.0
地域別													
名古屋地域(505人)	48.5	41.8	29.1	21.0	14.5	16.4	8.9	8.3	8.5	2.8	0.8	17.4	10.5
尾張地域(50人人)	51.1	42.9	27.8	21.8	17.8	13.8	11.3	9.5	8.2	2.9	0.5	14.0	10.5
西三河地域(391人)	48.3	38.4	18.9	18.9	16.1	13.0	10.2	8.4	4.3	2.6	0.3	19.4	13.8
東三河地域(185人)	44.9	41.6	17.8	21.6	14.1	19.5	7.6	9.2	8.1	0.5	1.6	16.8	13.0
無回答(7人)	57.1	14.3	14.3	28.6	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9

性別・年齢で見ると、男女ともどの年齢層でも「テレビ、ラジオ」、「新聞、雑誌」と答えた人の割合が高くなっている。

問39 - 1 講演会、研修会、シンポジウム参加頻度

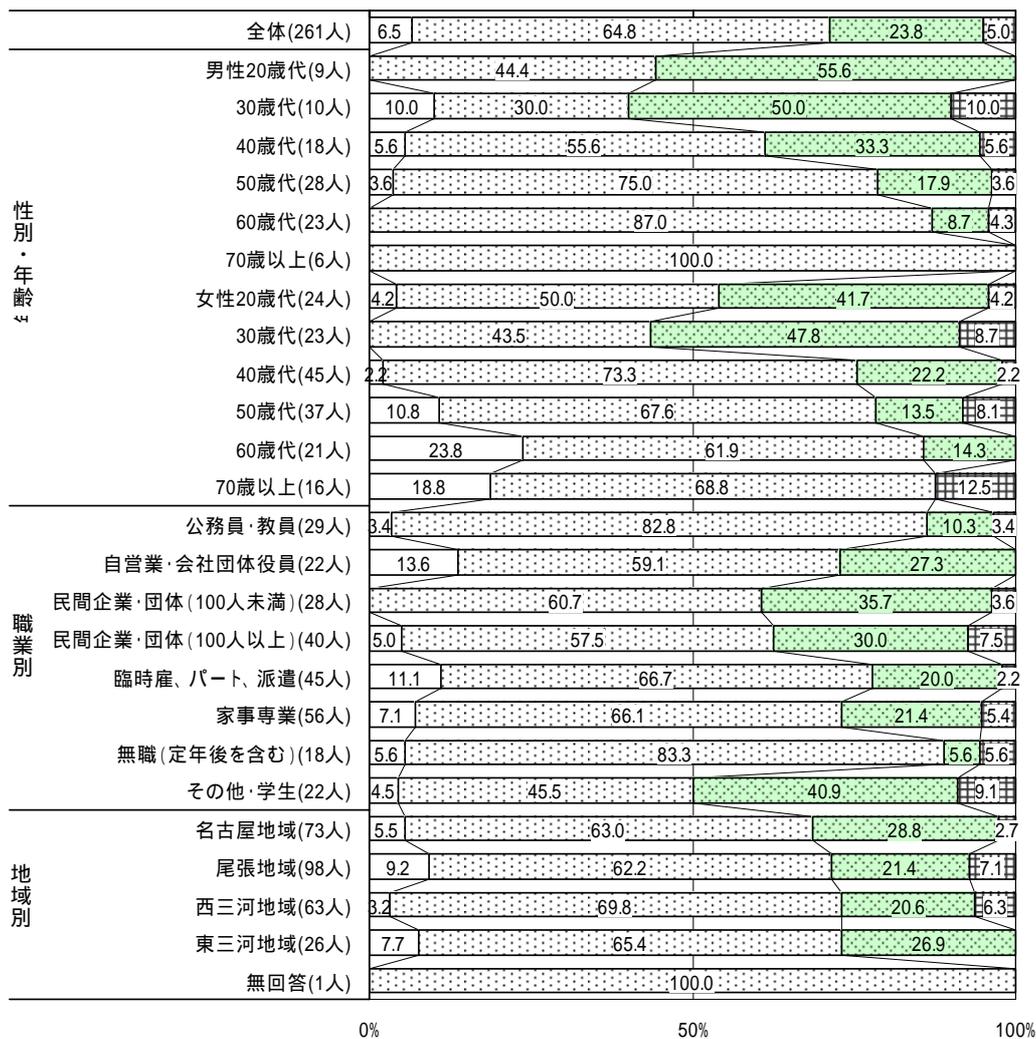


回答者数
261人

「講演会、研修会、シンポジウム」を認知していると答えた人の参加頻度については、「1～2度参加」が64.8%、「よく参加している」が6.5%となっている。なお、「参加したことはない」は、23.8%となっている。

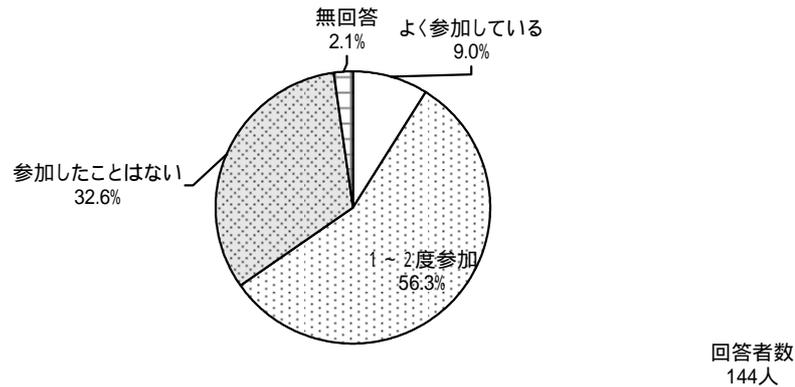
基本属性別

□よく参加している □ 1～2度参加 ■ 参加したことはない ▨ 無回答



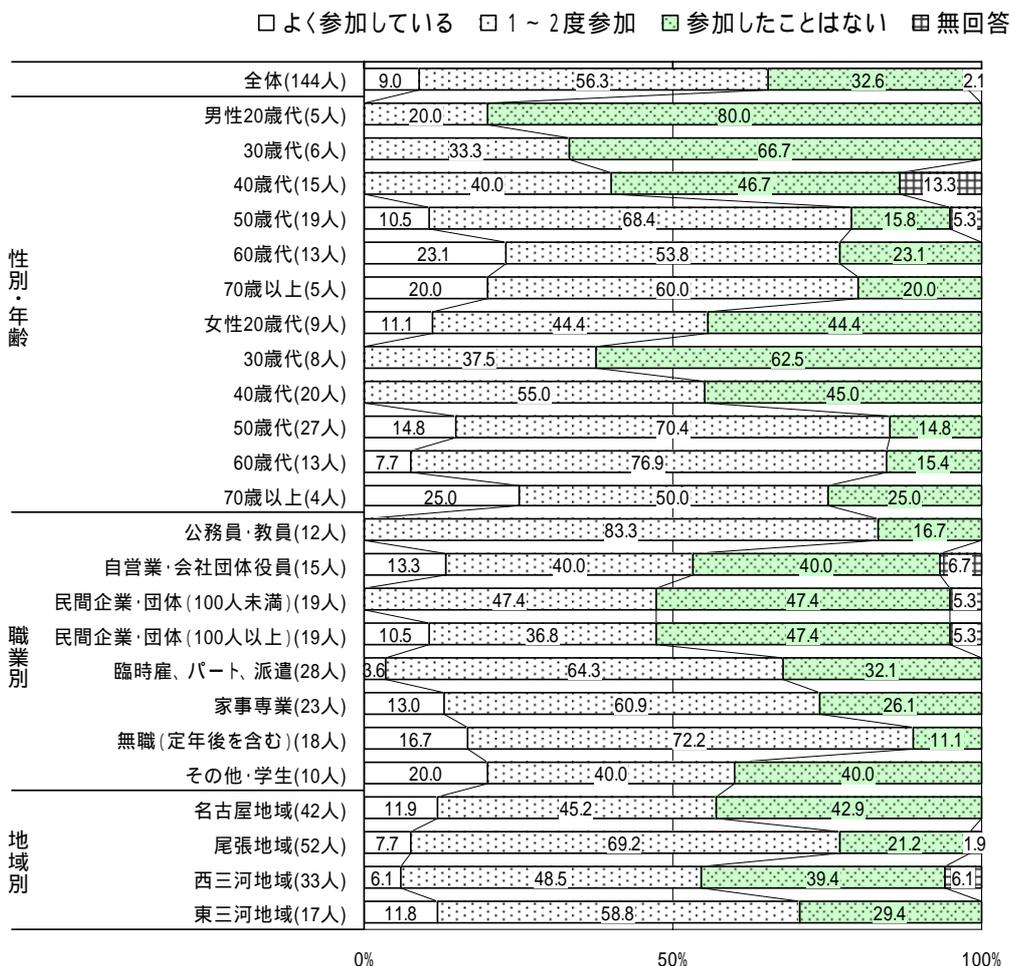
性別・年齢で見ると、男女ともに20歳代と30歳代で「参加したことはない」と答えた人の割合が高くなっている。

問39 - 2 啓発イベントや企画展示参加頻度



「啓発イベントや企画展示」を認知していると答えた人の参加頻度については、「1～2度参加」が56.3%、「よく参加している」が9.0%となっている。一方、「参加したことはない」が32.6%となっている。

基本属性別



性別・年齢で見ると、男性の60歳代と70歳以上、女性の70歳以上の高齢者層で、「よく参加している」と答えた人の割合が20%を超えている。一方、男性の20歳代と30歳代、女性の30歳代の若い年齢層では「参加したことがない」と答えた人の割合が60%を超えている。

地域別で見ると、名古屋地域と西三河地域が他の地域より「参加したことがない」と答えた人の割合が高くなっている。

18 . 内容別自由回答の意見数

No	項 目	件数
1	人権意識に関するもの	120
2	行政施策への要望	35
3	人権・同和教育に関するもの	36
4	女性の人権に関するもの	8
5	子どもの人権に関するもの	12
6	高齢者の人権に関するもの	4
7	障害者の人権に関するもの	5
8	同和問題に関するもの	38
9	外国人の人権に関するもの	2
10	H I V感染者、ハンセン病患者・元患者の人権に関するもの	2
11	犯罪被害者の人権に関するもの	9
12	性的マイノリティーの人々の人権に関するもの	0
13	プライバシーの侵害等に関するもの	5
14	インターネットでの侵害に関するもの	3
15	メディアに関するもの	10
16	医療に関するもの	1
17	就労・職場での差別等に関するもの	10
18	その他	28
	合 計	328